

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 11 組～ 12 組

教科担当者： 吉崎

使用教科書： （ 東京書籍 新数学 I 【数 I /704】 ）

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
前期	0 中学校の内容の確認 【知識及び技能】 ・一桁の足し算、九九、分数を含む数の計算の確認をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等式の性質を用いて方程式の解き方を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・一桁の足し算、九九 ・分数の計算 ・正の数、負の数の 加法・減法・乗法・除法 ・四則の混じった式の計算 ・一次方程式 ・連立一次方程式	【知識・技能】 ・一桁の足し算、九九、分数を含む数の計算を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	8
	1-1 数と式 【知識及び技能】 ・分配法則を理解する。 ・式の展開に取り組む。 ・因数分解に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・おきかえを用いて式の展開に取り組む。 ・おきかえを用いて因数分解に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・分配法則 ・式の展開 ・因数分解 ・たすき掛け ・展開・因数分解の工夫（文字のおきかえ）	【知識・技能】 ・分配法則を理解している。 ・展開の公式を理解している。 ・因数分解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 ・おきかえを用いて式の展開を行うことができる。 ・おきかえを用いて因数分解を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	1-2 実数 1-3 不等式 【知識及び技能】 ・平方根を含む式の計算に取り組む。 ・分母の有理化に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数の体系を紹介する。 ・循環小数を分数で表わす。 ・2重根号を簡単な形で表わす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・実数の分類 ・循環小数 ・平方根を含む式の計算 ・分母の有理化 ・2重根号	【知識・技能】 ・平方根を含む式の計算を身に付けている。 ・分母の有理化を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・数の体系を理解している。 ・循環小数を分数で表わすことができる。 ・2重根号を簡単な形で表わすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	22
	2 集合と命題 【知識及び技能】 ・集合と要素、部分集合について理解する。 ・共通部分、和集合、補集合について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・偽の命題に対して、反例をみつける。 ・対偶、背理法を用いた証明を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・集合と部分集合 ・共通部分、和集合、補集合 ・命題の真偽 ・命題の証明	【知識・技能】 ・集合と要素、部分集合について理解している。 ・共通部分、和集合、補集合について理解している。 【思考・判断・表現】 ・偽の命題に対して、反例をみつけることができる。 ・対偶、背理法を用いて命題を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後期	3 2次関数 【知識及び技能】 ・原点に頂点がある2次関数のグラフを書く。 ・平行移動した2次関数のグラフを書く。 ・2次方程式を解く。 ・2次不等式を解く。 【思考力、判断力、表現力等】 ・平行移動した2次関数のグラフを書く。 ・2次関数の最大値、最小値を求める。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点をまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・2次関数のグラフ ・実数倍と平行移動 ・最大値、最小値 ・2次関数の決定 ・2次方程式の解法（解の公式） ・2次関数のグラフとx軸の共有点 ・2次不等式	【知識・技能】 ・原点に頂点がある2次関数のグラフを書くことができる。 ・平行移動した2次関数のグラフを書くことができる。 ・2次方程式を解くことができる。 ・2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・平行移動した2次関数のグラフを書くことができる。 ・2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
	4 図形と計量 【知識及び技能】 ・直角三角形の三辺の長さから三角比を求める。 ・有名三角形の三角比を確認する。 ・三角比の相互関係の公式を覚える。 ・正弦定理を用いて、外接円の半径を求める。 ・余弦定理を用いて、三辺の長さから三角比の値を求める。 ・三角比を用いて、三角形の面積を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鈍角の三角比の定義を理解する。 ・正弦定理・余弦定理を導出する。 ・三角形の面積の公式を導出する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・三角比の定義 ・有名三角形の三角比 ・三角比の相互関係 ・鈍角の三角比 ・正弦定理・余弦定理 ・三角形の面積	【知識・技能】 ・直角三角形の三辺の長さから三角比を求めることができる。 ・有名三角形の三角比を答えることができる。 ・三角比の相互関係の公式を使いこなすことができる。 ・正弦定理を用いて、外接円の半径を求めることができる。 ・余弦定理を用いて、三辺の長さから三角比の値を求めることができる。 ・三角比を用いて、三角形の面積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・鈍角の三角比の定義を理解することができる。 ・正弦定理・余弦定理を導出することができる。 ・三角形の面積の公式を導出することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	34
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和5年度（1・2～4学年用） 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 11 組～ 第 4 学年 41 組 組

教科担当者： 吉崎

使用教科書：（東京書籍 新数学A【数A/704】）

教科 数学科 の目標： 数学の基本的法則を理解し、論理的に考察し、粘り強く活用しようとする。

【知識及び技能】数学の基本的な法則を体系的に理解している。事象を数学的に処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、発展的に考察する力、的確に表現する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に粘り強く数学を活用しようとする。問題解決の過程を振り返り改善しようとしている。

科目 数学A の目標： 数学Aの基本的法則を理解し、論理的に考察し、粘り強く活用しようとする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。 ・不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
集合の要素の個数・場合の数 【知識及び技能】 場合の数についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数を考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数を活用して粘り強く考える態度を養う。	・集合 ・集合の要素の個数 ・個数の数え方 ・和の法則と積の法則	【知識・技能】 定期調査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期調査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	8
順列 【知識及び技能】 順列についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 順列を考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 順列を活用して粘り強く考える態度を養う。	・順列 ・順列の利用 ・いろいろな順列	【知識・技能】 定期調査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期調査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	6
定期調査			○	○		1
組合せ 【知識及び技能】 組合せについての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 組合せを考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 組合せを活用して粘り強く考える態度を養う。	・組合せ ・組合せの利用	【知識・技能】 定期調査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期調査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	4
事象と確率・確率の基本性質 【知識及び技能】 確率の基本性質の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の基本性質を考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の基本性質を活用して粘り強く考える態度を養う。	・事象と確率 ・確率の計算 ・排反事象の確率 ・余事象の確率	【知識・技能】 定期調査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期調査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	8
独立な試行とその確率・条件付き確率・期待値 【知識及び技能】 色々な確率についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 色々な確率を考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 確率で粘り強く考える態度を養う。 定期調査	・独立な試行の確率 ・反復試行の確率 ・条件付き確率 ・期待値	【知識・技能】 定期調査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期調査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	8
定期調査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後 期	三角形の辺の比・外心・内心・重心 <b>【知識及び技能】</b> 三角形の三心の理解を深める。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 図形の性質を考察に活用する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 図形の性質を活用して粘り強く考 える態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形と比</li> <li>・三角形の重心</li> <li>・三角形の外心・内心</li> <li>・角の二等分線と線分の比</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 定期考査・小テストなど <b>【思考・判断・表現】</b> 定期考査・小テストなど <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 提出物・授業中の態度など	○	○	○	8
	チェバ・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 <b>【知識及び技能】</b> チェバ・メネラウス定理を理解す る。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 定理を考察に活用する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 図形を粘り強く考える態度を養 う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線と角</li> <li>・多角形の角</li> <li>・三角形の合同と相似</li> <li>・基本の作図</li> <li>・作図の利用</li> <li>・円の接線</li> <li>・円周角の定理</li> <li>・円に内接する四角形</li> <li>・接線と弦のつくる角</li> <li>・方べきの定理</li> <li>・2つの円</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 定期考査・小テストなど <b>【思考・判断・表現】</b> 定期考査・小テストなど <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 提出物・授業中の態度など	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	空間図形 <b>【知識及び技能】</b> 空間図形についての理解を深め る。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 空間図形を考察に活用する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 図形を粘り強く考える態度を養 う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線や平面の位置関係</li> <li>・多面体</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 定期考査・小テストなど <b>【思考・判断・表現】</b> 定期考査・小テストなど <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 提出物・授業中の態度など	○	○	○	4
	数学と人間活動 <b>【知識及び技能】</b> 整数についての理解を深める。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 整数の性質を考察に活用する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 整数の性質を活用して粘り強く考 える態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数を表す</li> <li>・数の表し方のしくみ</li> <li>・2進法</li> <li>・位置を表す</li> <li>・約数と倍数</li> <li>・最大公約数と最小公倍数</li> <li>・ユークリッドの互除法</li> <li>・測る</li> <li>・量る</li> <li>・計る</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 定期考査・小テストなど <b>【思考・判断・表現】</b> 定期考査・小テストなど <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 提出物・授業中の態度など	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和5年度（12～4学年用） 数学 科目 数学B]

教科：数学 科目：数学B 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 11組～ 第4学年 41組組

教科担当者：吉崎

使用教科書：（ 数研出版 新高校の数学B【数B/714】 ）

教科 数学科 の目標： 数学の基本的法則を理解し、論理的に考察し、粘り強く活用しようとする。

【知識及び技能】数学の基本的な法則を体系的に理解している。事象を数学的に処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、発展的に考察する力、的確に表現する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に粘り強く数学を活用しようとする。問題解決の過程を振り返り改善しようとしている。

科目 数学B の目標： 数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
集合の要素の個数・場合の数 【知識及び技能】 場合の数についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数を考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数を活用して粘り強く考える態度を養う。	1. 数列 2. 等差数列 3. 等比数列 4. 複利法と等比数列 5. 和の記号Σ 6. 階差数列	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	8
順列 【知識及び技能】 順列についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 順列を考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 順列を活用して粘り強く考える態度を養う。	1. 漸化式と一般項 2. 数学的帰納法	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	29
定期考査			○	○		1
組合せ 【知識及び技能】 組合せについての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 組合せを考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 組合せを活用して粘り強く考える態度を養う。	1. 確率 2. 確率変数と確率分布 3. 二項分布 4. 確率密度関数 5. 正規分布 6. 二項分布と正規分布	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	22
事象と確率・確率の基本性質 【知識及び技能】 確率の基本性質の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の基本性質を考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の基本性質を活用して粘り強く考える態度を養う。	1. 母集団と標本 2. 母平均の推定 3. 仮説検定	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	15
独立な試行とその確率・条件付き確率・期待値 【知識及び技能】 色々な確率についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 色々な確率を考察に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 確率で粘り強く考える態度を養う。	1. ごみの量の推定 2. 自転車シェアリング 3. 電気料金と省エネルギー 4. 平均気温と地球温暖化 5. 標高と気温の関係 6. 自転車が止まるまでの距離	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後 期	三角形の辺の比・外心・内心・重心 <b>【知識及び技能】</b> 三角形の三心の理解を深める。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 図形の性質を考察に活用する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 図形の性質を活用して粘り強く考える態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数のグラフ</li> <li>実数倍と平行移動</li> <li>最大値、最小値</li> <li>2次関数の決定</li> <li>2次方程式の解法（解の公式）</li> <li>2次関数のグラフとx軸の共有点</li> <li>2次不等式</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 定期考査・小テストなど <b>【思考・判断・表現】</b> 定期考査・小テストなど <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 提出物・授業中の態度など	○	○	○	34
	チェバ・メネラウスの定理・円に内接する四角形 <b>【知識及び技能】</b> チェバ・メネラウス定理を理解する。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 定理を考察に活用する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 図形を粘り強く考える態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合と部分集合</li> <li>共通部分、和集合、補集合</li> <li>命題の真偽</li> <li>命題の証明</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 定期考査・小テストなど <b>【思考・判断・表現】</b> 定期考査・小テストなど <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 提出物・授業中の態度など	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	空間図形 <b>【知識及び技能】</b> 空間図形についての理解を深める。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 空間図形を考察に活用する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 図形を粘り強く考える態度を養う。  数学と人間活動 <b>【知識及び技能】</b> 整数についての理解を深める。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 整数の性質を考察に活用する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 整数の性質を活用して粘り強く考える態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角比の定義</li> <li>有名三角形の三角比</li> <li>三角比の相互関係</li> <li>鈍角の三角比</li> <li>正弦定理・余弦定理</li> <li>三角形の面積</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 定期考査・小テストなど <b>【思考・判断・表現】</b> 定期考査・小テストなど <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 提出物・授業中の態度など	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 幾何演習

教科：数学 科目：幾何演習 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 21組、22組

教科担当者：藤本

使用教科書：（東京書籍 教科書演習ノート 新数学A）

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 幾何演習（数学I） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			相当 時数
前期	0 中学校の内容の確認 【知識及び技能】 ・一桁の足し算、九九、分数を含む数の計算の確認をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等式の性質を用いて方程式の解き方を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・一桁の足し算、九九 ・分数の計算 ・正の数、負の数の加法・減法・乗法・除法 ・四則の混じった式の計算 ・一次方程式 ・連立一次方程式	【知識・技能】 ・一桁の足し算、九九、分数を含む数の計算を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	4
	1-1 数と式 【知識及び技能】 ・分配法則を理解する。 ・式の展開に取り組む。 ・因数分解に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・おきかえを用いて式の展開に取り組む。 ・おきかえを用いて因数分解に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・分配法則 ・式の展開 ・因数分解 ・たすき掛け ・展開・因数分解の工夫（文字のおきかえ）	【知識・技能】 ・分配法則を理解している。 ・展開の公式を理解している。 ・因数分解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 ・おきかえを用いて式の展開を行うことができる。 ・おきかえを用いて因数分解を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	1-2 実数 1-3 不等式 【知識及び技能】 ・平方根を含む式の計算に取り組む。 ・分母の有理化に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数の体系を紹介する。 ・循環小数を分数で表わす。 ・2重根号を簡単な形で表わす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・実数の分類 ・循環小数 ・平方根を含む式の計算 ・分母の有理化 ・2重根号	【知識・技能】 ・平方根を含む式の計算を身に付けている。 ・分母の有理化を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・数の体系を理解している。 ・循環小数を分数で表わすことができる。 ・2重根号を簡単な形で表わすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後 期	3 三角比 【知識及び技能】 ・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求める。 ・三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求める。 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解し、直角三角形において、その値を求める。 ・正弦定理を理解し、定理を利用して三角形の辺の長さを求める。 ・余弦定理を理解し、定理を利用して三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相似な三角形において、三角比が三角形の大きさに関係なく、ある角に依存していることを考察する。 ・空間図形に含まれる三角形に着目して三角比や定理等を活用し、図形の計量の問題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・三角形 ・タンジェント ・サインとコサイン ・三角比の利用 ・三角比の相互関係 ・90° - Aの三角比 ・三角形の面積 ・正弦定理 ・余弦定理 ・鈍角の三角比 ・三角比の相互関係 ・鈍角の三角比と計量	【知識・技能】 ・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。 ・三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解し、直角三角形において、その値を求めることができる。 ・正弦定理を理解し、定理を利用して三角形の辺の長さを求めることができる。 ・余弦定理を理解し、定理を利用して三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・相似な三角形において、三角比が三角形の大きさに関係なく、ある角に依存していることを考察することができる。 ・空間図形に含まれる三角形に着目して三角比や定理等を活用し、図形の計量の問題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	2 図形の性質（数学A） 【知識及び技能】 ・平行線と角の関係を理解し、これらを利用して角の大きさを求める。 ・三角形の合同条件、相似条件を理解し、これらを利用して辺の長さや角の大きさを求める。 ・図形の性質を利用した平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し、目的に合った図形を作図する。 ・三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中点連結定理を利用して、線分を3等分する方法を考察する。 ・三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求める。 ・円周角の定理の逆を理解し、4点が同一円周上にあるかどうか判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・直線と角 ・多角形の角 ・三角形の合同と相似 ・基本の作図 ・作図の利用 ・三角形と比 ・三角形の重心 ・三角形の外心・内心 ・角の二等分線と線分の比 ・円の接線 ・円周角の定理 ・円に内接する四角形 ・接戦と弦の作る角 ・方べきの定理 ・2つの円 ・直線や平面の位置関係 ・多面体	【知識・技能】 ・平行線と角の関係を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。 ・三角形の合同条件、相似条件を理解し、これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・図形の性質を利用した平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し、目的に合った図形を作図することができる。 ・三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・中点連結定理を利用して、線分を3等分する方法を考察することができる。 ・円周角の定理の逆を理解し、4点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 代数演習

教科：数学 科目：代数演習 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 21組、22組

教科担当者：藤本

使用教科書：（東京書籍 教科書演習ノート 新数学I）

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 代数演習（数学I） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			相当 時数
前期	0 中学校の内容の確認 【知識及び技能】 ・一桁の足し算、九九、分数を含む数の計算の確認をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等式の性質を用いて方程式の解き方を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・一桁の足し算、九九 ・分数の計算 ・正の数、負の数の 加法・減法・乗法・除法 ・四則の混じった式の計算 ・一次方程式 ・連立一次方程式	【知識・技能】 ・一桁の足し算、九九、分数を含む数の計算を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	4
	1-1 数と式 【知識及び技能】 ・分配法則を理解する。 ・式の展開に取り組む。 ・因数分解に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・おきかえを用いて式の展開に取り組む。 ・おきかえを用いて因数分解に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・分配法則 ・式の展開 ・因数分解 ・たすき掛け ・展開・因数分解の工夫（文字のおきかえ）	【知識・技能】 ・分配法則を理解している。 ・展開の公式を理解している。 ・因数分解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 ・おきかえを用いて式の展開を行うことができる。 ・おきかえを用いて因数分解を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	1-2 実数 1-3 不等式 【知識及び技能】 ・平方根を含む式の計算に取り組む。 ・分母の有理化に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数の体系を紹介する。 ・循環小数を分数で表わす。 ・2重根号を簡単な形で表わす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・実数の分類 ・循環小数 ・平方根を含む式の計算 ・分母の有理化 ・2重根号	【知識・技能】 ・平方根を含む式の計算を身に付けている。 ・分母の有理化を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・数の体系を理解している。 ・循環小数を分数で表わすことができる。 ・2重根号を簡単な形で表わすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
後 期	2 2次関数 【知識及び技能】 ・原点に頂点がある2次関数のグラフを書く。 ・平行移動した2次関数のグラフを書く。 ・2次方程式を解く。 ・2次不等式を解く。 【思考力、判断力、表現力等】 ・平行移動した2次関数のグラフを書く。 ・2次関数の最大値、最小値を求める。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点をまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・2次関数のグラフ ・実数倍と平行移動 ・最大値、最小値 ・2次関数の決定 ・2次方程式の解法（解の公式） ・2次関数のグラフとx軸の共有点 ・2次不等式	【知識・技能】 ・原点に頂点がある2次関数のグラフを書くことができる。 ・平行移動した2次関数のグラフを書くことができる。 ・2次方程式を解くことができる。 ・2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・平行移動した2次関数のグラフを書くことができる。 ・2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	4 データの分析 【知識及び技能】 ・データや階級、度数、階級値、度数分布表、累積度数、ヒストグラム、相対度数、累積相対度数の定義や意味を理解する。 ・データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、平均値、中央値、最頻値などの代表値を求める。 ・四分位数、四分位範囲の定義や意味を理解する。 ・分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。 ・仮説検定の考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・標準偏差を用いてデータの散らばり具合を考察する。 ・相関関係を調べることで、複数の数量について、強い関係があるのはどれとどれかを判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・データにもとづいた問題解決の進め方 ・データの特徴の調べ方 ・代表値 ・四分位数と箱ひげ図 ・分散と標準偏差 ・相関関係 ・相関係数 ・データにもとづく考え方	【知識・技能】 ・データや階級、度数、階級値、度数分布表、累積度数、ヒストグラム、相対度数、累積相対度数の定義や意味を理解している。 ・データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、平均値、中央値、最頻値などの代表値を求めることができる。 ・四分位数、四分位範囲の定義や意味を理解している。 ・分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。 ・仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・標準偏差を用いてデータの散らばり具合を考察することができる。 ・相関関係を調べることで、複数の数量について、強い関係があるのはどれとどれかを判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和5年度（2～4学年用） 教科 数学 科目

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：4 単位

対象学年組：第 2～4 学年（15名）

教科担当者：藤本

使用教科書：（東京書籍 新数学Ⅱ【数Ⅱ/717】）

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
前期	1-1 多項式・分数式の計算 1-2 2次方程式 【知識及び技能】 ・分数式とその約分、四則演算について理解し、その計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次方程式の判別式について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・3次の乗法公式と因数分解 ・二項定理 ・分数式のかけ算とわり算 ・分数式のたし算とひき算 ・複素数 ・複素数の計算 ・2次方程式の解 ・解と係数の関係	【知識・技能】 ・分数式のたし算、ひき算、かけ算、わり算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次方程式の解の種類について、判別式を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・パスカルの三角形に関心をもち、式の展開の考察に活用しようとしている。	○	○	○	8
	1-3 高次方程式 1-4 式と証明 【知識及び技能】 ・因数分解、因数定理を用いて、高次方程式を解く。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な問題を解決することに、高次方程式を活用する 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・多項式のわり算 ・因数定理 ・高次方程式 ・等式の証明 ・不等式の証明	【知識・技能】 ・因数分解、因数定理を用いて、高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・身近な問題を解決することに、高次方程式を活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	2-1 座標と直線の方程式 2-2 円の方程式 【知識及び技能】 ・直線の傾きと切片について理解する。 ・円の方程式から円の中心の座標と半径を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・平面上の2点間の距離について三平方の定理を用いて考察する。 ・座標平面上の点の集合について、不等式の解として考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・直線上の点の座標 ・平面上の点の座標 ・直線の方程式 ・2直線の関係 ・円の方程式 ・円と直線	【知識・技能】 ・直線の傾きと切片について理解している。 ・円の方程式から円の中心の座標と半径を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・平面上の2点間の距離について三平方の定理を用いて考察することができる。 ・座標平面上の点の集合について、不等式の解として考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	22
2-3 軌跡と領域 3-1 三角関数 【知識及び技能】 ・不等式が表す領域を図示する。 ・三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・座標平面上の点の集合について、不等式の解として考察する。 ・一般角の三角関数の相互関係が成り立つことについて、単位円を用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・軌跡 ・不等式が表す領域 ・連立不等式の表す領域 ・一般角 ・三角関数 ・三角関数の相互関係 ・三角関数のグラフ ・三角関数の性質	【知識・技能】 ・不等式が表す領域を図示することができる。 ・三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の点の集合について、不等式の解として考察することができる。 ・一般角の三角関数の相互関係が成り立つことについて、単位円を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	15	

	定期考査			○	○		1
	<b>単元の具体的な指導目標</b>	<b>指導項目・内容</b>	<b>評価規準</b>	<b>知</b>	<b>思</b>	<b>態</b>	<b>配 当 時 数</b>
後 期	3-2 加法定理 4-1 指数関数 4-2 対数関数 【知識及び技能】 ・三角関数の加法定理を用いて、三角関数の値を求める。 ・指数関数のグラフの性質を理解し、そのグラフをかく。 【思考力・判断力・表現力等】 ・指数関数のグラフを用いて、指数と対数の関係について考察する。 ・身近な問題を解決することに、対数関数を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・加法定理 ・加法定理の応用 ・弧度法 ・整数の指数 ・累乗根 ・分数の指数 ・指数関数とそのグラフ ・指数関数の利用 ・対数 ・対数の性質 ・対数関数とそのグラフ ・常用対数	【知識・技能】 ・三角関数の加法定理を用いて、三角関数の値を求めることができる。 ・指数関数のグラフの性質を理解し、そのグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ・指数関数のグラフを用いて、指数と対数の関係について考察することができる。 ・身近な問題を解決することに、対数関数を活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
	5 微分と積分 【知識及び技能】 ・関数の平均変化率を求める。 ・微分係数を定義に基づいて求める。 ・導関数を利用して、微分係数を求める。 ・曲線上のある点における接線の方程式を求める。 ・関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求める。 ・不定積分の意味を理解し、不定積分を求める。 ・定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・具体的な事象で、時間の幅を小さくしたときの平均の速さの変化について考察する。 ・身近な問題を解決することに、関数の最大・最小を活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く課題に取り組む。	・平均変化率 ・微分係数 ・導関数 ・導関数の計算 ・接線 ・関数の増加・減少 ・関数の極大・極小 ・関数の最大・最小 ・不定積分 ・定積分 ・面積	【知識・技能】 ・関数の平均変化率を求めることができる。 ・微分係数を定義に基づいて求めることができる。 ・導関数を利用して、微分係数を求めることができる。 ・曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。 ・関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めることができる。 ・不定積分の意味を理解し、不定積分を求めることができる。 ・定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事象で、時間の幅を小さくしたときの平均の速さの変化について考察することができる。 ・身近な問題を解決することに、関数の最大・最小を活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く課題に取り取り組むことができる。	○	○	○	34
定期考査			○	○		1	

飛鳥高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

教科 数学 科目 数学 I  $\alpha$  対象 数学 I  $\alpha$  選択者

教科担当者 藤本 寛章 ㊦

使用教科書 数研出版 改訂版 最新 数学 I

使用教材

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第5章 データの分析	データの整理について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
		データの整理の代表値について解説・演習		2
5月		四分位範囲について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
		データの散らばりについて解説・演習		2
	第4章 図形と計量 第1節 三角比	鋭角の三角比について解説・演習		2
		三角比の利用について解説・演習		2
6月		三角比の相互関係について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
		三角比の拡張(1)について解説・演習		2
		三角比の拡張(2)について解説・演習		2
		三角比が与えられたときの角について解説・演習		2
7月	第2節 正弦定理・余弦定理	正弦定理について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
		余弦定理について解説・演習		2
		三角形の面積について解説・演習		2
9月		図形の計量について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
	中学校の内容の確認	数の計算について解説・演習		2

10月		文字式について解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験の成績</li> <li>・授業の出席</li> <li>・提出物</li> <li>・授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
		中学校1～3年の計算のまとめについて解説・演習		2
	第1章 数と式 1節 数と式	整式について解説・演習		2
		整式の加法・減法・乗法について解説・演習		2
11月		展開の公式について解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験の成績</li> <li>・授業の出席</li> <li>・提出物</li> <li>・授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
		式の展開の工夫について解説・演習		2
		因数分解について解説・演習		2
		いろいろな因数分解について解説・演習		2
12月		実数について解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験の成績</li> <li>・授業の出席</li> <li>・提出物</li> <li>・授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
		根号を含む式の計算について解説・演習		2
	第2節 1次不等式	不等式について解説・演習		2
1月		1次不等式の性質・1次不等式の解き方について解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験の成績</li> <li>・授業の出席</li> <li>・提出物</li> <li>・授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
		連立方程式について解説・演習		2
		不等式の利用について解説・演習		2
2月	第2章 集合と命題	集合と部分集合について解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験の成績</li> <li>・授業の出席</li> <li>・提出物</li> <li>・授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
		共通部分・和集合・補集合について解説・演習		2
		命題と集合(1)について解説・演習		2
		命題と集合(2)について解説・演習		2
3月		これまで学習した内容の総復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験の成績</li> <li>・授業の出席</li> <li>・提出物</li> <li>・授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	4

飛鳥高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

教科 数学 科目 数学 I  $\beta$  対象 数学 I  $\beta$  選択者

教科担当者 藤本 寛章 ㊦

使用教科書 数研出版 改訂版 最新 数学 I

使用教材

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点 方法	予定 時数
4月	第2章 集合と命題	集合と部分集合について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
		共通部分・和集合・補集合について解説・演習		2
5月		命題と集合(1)について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
		命題と集合(2)について解説・演習		2
	中学校の内容の確認	数の計算・文字式について解説・演習		2
		中学校1～3年の計算のまとめについて解説・演習		2
6月	第1章 数と式 1節 数と式	整式について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
		整式の加法・減法・乗法について解説・演習		2
		展開の公式について解説・演習		2
		式の展開の工夫について解説・演習		2
7月		因数分解について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
		いろいろな因数分解について解説・演習		2
		実数について解説・演習		2
9月		根号を含む式の計算について解説・演習	・試験の成績 ・授業の出席 ・提出物 ・授業に取り組む態度 以上を主として行う	2
	第2節 1次不等式	不等式について解説・演習		2

10月		1次不等式の性質・1次不等式の解き方について解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験の成績</li> <li>授業の出席</li> <li>提出物</li> <li>授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
		連立方程式について解説・演習		2
		不等式の利用について解説・演習		2
	第3章 2次関数	関数について解説・演習		2
11月		関数とグラフについて解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験の成績</li> <li>授業の出席</li> <li>提出物</li> <li>授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
		$y = ax^2$ のグラフについて解説・演習		2
		$y = ax^2 + q$ のグラフについて解説・演習		2
		$y = a(x-p)^2$ のグラフについて解説・演習		2
12月		$y = a(x-p)^2 + q$ のグラフについて解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験の成績</li> <li>授業の出席</li> <li>提出物</li> <li>授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
		$y = ax^2 + bx + c$ のグラフについて解説・演習		2
		2次関数の最大・最小について解説・演習		2
1月		2次関数の決定について解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験の成績</li> <li>授業の出席</li> <li>提出物</li> <li>授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
	第2節 2次方程式と2次不等式	2次方程式について解説・演習		2
		2次関数のグラフとX軸の共有点について解説・演習		2
2月		2次不等式の利用について解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験の成績</li> <li>授業の出席</li> <li>提出物</li> <li>授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	2
	第5章 データの分析	データの整理について解説・演習		2
		データの整理の代表値について解説・演習		2
		四分位範囲について解説・演習		2
3月		データの散らばりについて解説・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験の成績</li> <li>授業の出席</li> <li>提出物</li> <li>授業に取り組む態度</li> </ul> 以上を主として行う	4